

施策評価シート (平成24年度の振り返り、総括)

作成日 平成25年 07月 09日

施策 No.	43	施策名	広域行政・地域連携の充実
主管課名	総務課	電話番号	0285-83-8106
関係課名	企画課、安全安心課、健康増進課、国保年金課、商工観光課、環境課、建設課、学校教育課、生涯学習課、都市計画課		

施策の対象	市民、地域連携をしている自治体								
対象指標名	単位	18年度実績	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度実績	26年度見込
人口	人				82,997	82,584	82,136	81,511	85,500
75歳以上の高齢者	人				8,133	8,319	8,383	8,540	8,675

施策の意図	<p>・広域行政・地域連携により、対象となる市民に効率的かつ利便性のある行政サービスの提供を図る。</p>								
成果指標設定の考え方及び指標の把握方法(算定式など)	<p>・芳賀地区広域行政事務組合、栃木県後期高齢者医療広域連合及び他地域との連携による、真岡市以外の行政サービスの事務数でみる。 なお、芳賀地区広域行政事務組合により共同処理している行政サービスに関する成果指標の実績値は、平成19年度までは、消防、救急医療、し尿処理、斎場、教育、公設市場の6事務と、旧二宮町との一部事務組合で、平成21年3月22日まで運営を行っていたごみ処理事務の計7件であったが、平成20年度からは、市勢発展長期計画の施策の成果目標に基づき、芳賀地区広域行政事務組合規約で規定している事務の数に変更した。 続きは「補足事項」欄に記入</p>								
成果指標名	単位	18年度実績	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度実績	26年度基本計画目標値
芳賀地区広域行政事務組合により共同処理している行政サービスの数	件				17	17	17	17	17
栃木県後期高齢者医療広域連合により共同処理している行政サービスの数	件				5	5	5	5	5
相互協力ができている行政サービスの数	件				3	3	3	3	3
栃木県市町村総合事務組合により共同処理している行政サービスの数	件				4	4	4	4	-
真岡鉄道利用促進協議会により連携を図っている事業数	件				1	1	1	1	-
(真岡線相互利用)									

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担	<p>将来、環境対策や福祉対策など、一つの市町村では対応が困難になってくる行政分野において、広域行政・地域連携を推進し、構成あるいは連携市町村相互の行政効率を高める必要性が予想されるが、その計画、運営にあたっては、住民に加えて、地元企業等の参加と役割分担を求め、地域の合意形成を図る。</p>
-------------------------	--

1. 施策の成果水準とその背景（近隣他市や以前との比較、特徴、その要因と考えられること）

（１）施策成果の時系列比較（過去３年間の比較） 平成２０年度と比較して１件増えている。行政サービスの一層の専門化や高度化が求められ、広域的な視点から連携・調整して行政を進めていくことが必要となっている。

（２）近隣他市との比較 小さな市町においては、行政サービスの一層の専門化や高度化が求められ、広域行政が進める事業が多くなっている。

（３）住民期待水準との比較

市民意向調査で、真岡線の利用頻度は、月に１回以上利用する人が２．９％あり、真岡鐵道存続など、地域住民が期待する成果水準はある程度、高いと思われる。

【広域行政：１７事務】

・１市４町で共同処理している芳賀地区広域行政事務組合の事務には、広域市町村圏計画の策定を始めとして、消防、し尿処理、斎場、救急医療、教育、公設市場、ごみ処理施設建設に関する事務等１７件がある。芳賀地区広域行政事務組合を組織する１市４町の人口は１４９，４８９人（２５年５月１日現在、県毎月人口推計結果）で、面積は５６３．９３平方ｋｍであり、本市はその人口の５４．５％を、その面積の２９．７％を占める。

・芳賀地方の広域行政のために、県が１億円、１市５町で９億円（真岡市２９７，０３７千円、旧二宮１１８，３９５千円）の合わせて１０億円の出資金で、「ふるさと市町村圏基金」を設置し、これを原資として、真岡線ＳＬ運行事業や観光ＰＲ事業などを支援している。

【後期高齢者医療広域連合：５事務】

・県内の全市町で組織する栃木県後期高齢者医療広域連合が共同処理を行っている事務は、被保険者の資格管理に関する事務、医療給付、保険料の賦課、保健事業、その他後期高齢者医療制度の施行に関する事務の計５件である。

【地域連携：３事務】

・地域連携に関する事務は、防災関係の協定（県央地区、埼玉県桶川市、新潟県阿賀野市）、施設の広域利用（栃木県央地区での図書館、スポーツ・レクリエーション施設、保育所等）、真岡線沿線２市４町によるＳＬ運行事業に関する事務である。

24年度の
評価結果

2. 施策の成果実績に対してのこれまでの主な取り組み（事務事業）の総括

【広域行政】

・広域ごみ処理施設建設に向けての取り組みは、平成２１年１月に策定した、芳賀地域循環型社会形成推進地域計画に基づき、循環型社会の実現を目指して、平成２６年度の施設の本格稼働に向け進めている。

【地域連携】

・真岡鐵道利用促進協議会による真岡線利用促進策として、各沿線自治体で高齢者による真岡線を利用する施設の相互利用を行うとともに、幼稚園や小学校の真岡線利用に交付金を支給し利用促進を図っている。

・沿線のイメージアップや観光振興を図るため、真岡線沿線自治体２市４町の共同によるＳＬ運行事業と関連イベント等を行った。

・市町村消防の広域化を検討するため、栃木県消防広域化協議会事務局が設置され、平成２１年度から県内各消防本部から職員が派遣されているが、その協議については、平成２３年度から一時休止している。しかし、消防救急無線のデジタル化については、移行期限（平成２８年５月３１日）があるため、継続して協議がなされ、県域を１ブロックとした無線の広域化を図るため共同で整備することで進められている。

・広域ごみ処理施設建設にあたり、地域との信頼関係を築きながら、芳賀地区広域行政事務組合と１市４町が協力し、関係６地区と環境保全協定締結を進めてきた。関係地区からはほぼ理解が得られ、５地区とは既に締結し、残りの１地区についてもまもなく締結をしていく。

<p>24年度の 評価結果</p>	<p>3. 施策の課題認識と改革改善の方向</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広域ごみ処理施設建設にあたり、関係地区からはほぼ理解を得られたので、環境保全協定を締結し、平成25年秋から試験運転を行い、平成26年4月に本格稼働していく。 ・ 国においては、後期高齢者医療制度に代わる新しい高齢者医療制度の検討を進めているが、今後とも、関係機関と密接に連携を取りながら、適切に対応していく。 ・ 芳賀地方広域圏内の1市4町あるいは真岡線沿線2市4町が連携し、それぞれの市町の観光資源を活用した広域的な観光施策の推進を図る。
<p>補足事項</p> <p>「成果指標設定の考え方及び指標の把握方法」の補足説明（続き）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 相互協力ができている行政サービスの数の実績値は、平成19年度までは他市町との「防災協定」と、「図書館」、「スポーツ・レクリエーション施設」、「保育所」、「老人憩いの家の施設」相互利用の5件としていたが、平成20年度からは市勢発展長期計画の施策の成果目標に基づき、行政サービスの対象を「防災協定」、「施設の広域利用」、「SL運行」の3件に変更した。 	